

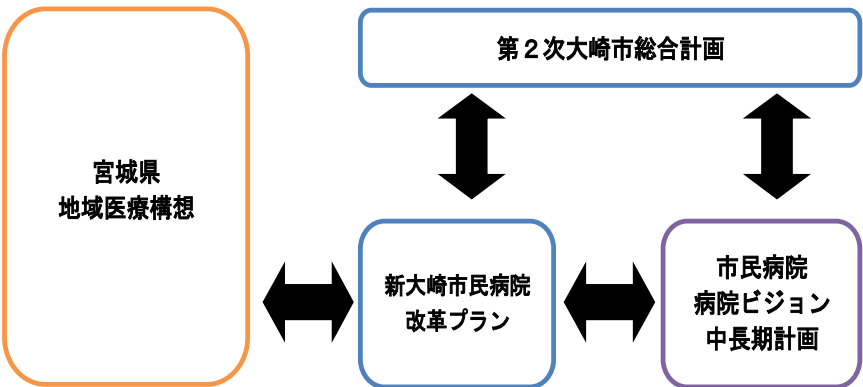
新大崎市民病院改革プラン中間案の概要

趣旨

平成19年12月に示された「公立病院改革ガイドライン」においては一定の成果を上げているところであるが、依然として、医師不足等の厳しい環境が続いており、持続可能な経営を確保できていない病院も多い。また、人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれ、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築が必要となる。

公立病院の果たすべき役割は、宮城県地域医療構想を踏まえたものでなければならないことから、これまでの「経営効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」に、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」の4つの視点に立ち、持続可能な経営を確保できるよう策定するものである。

計画の位置付け

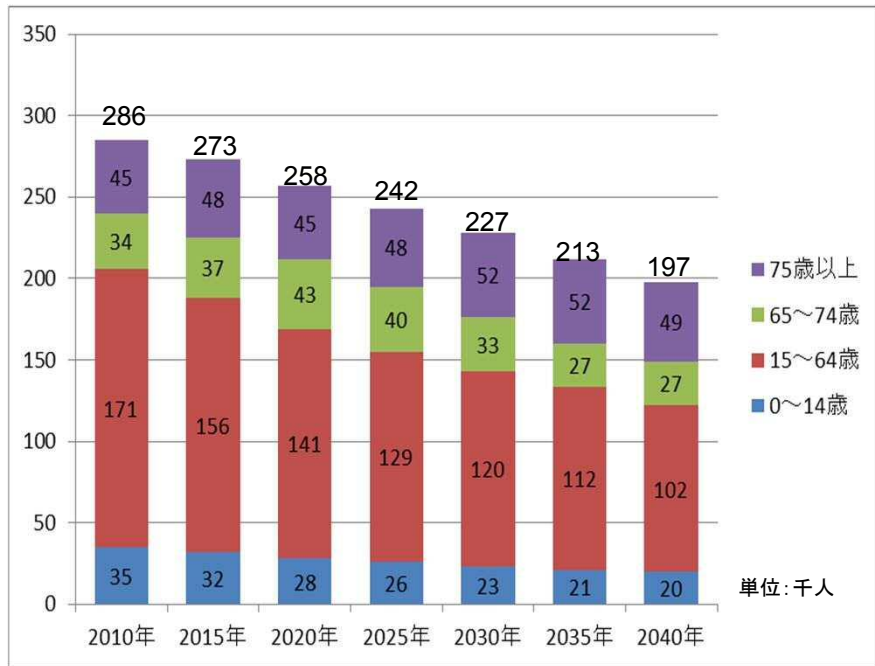


対象期間

平成29年度～平成32年度までの4年間

地域医療構想と大崎・栗原医療圏の現状

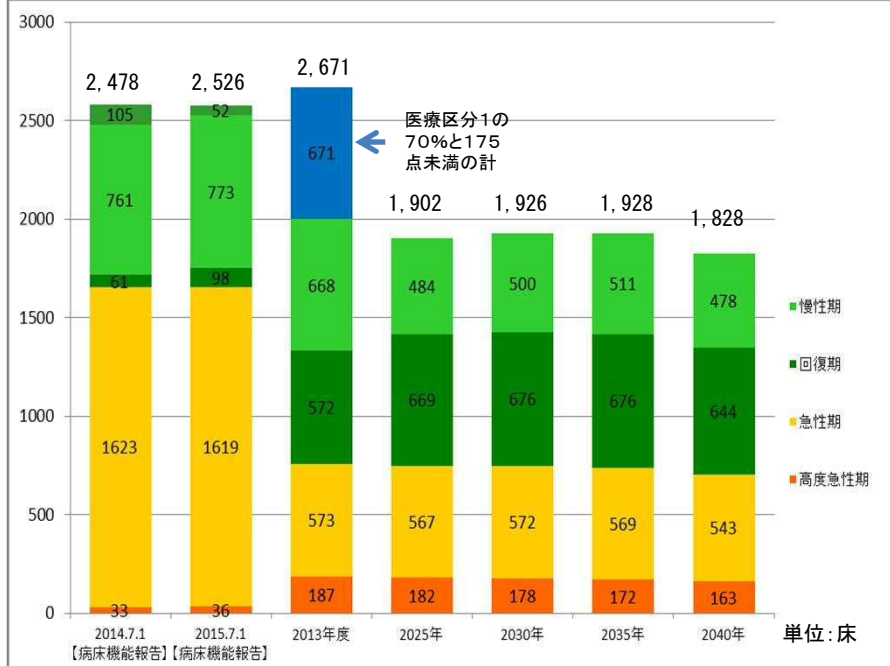
大崎・栗原区域(医療圏)の人口構造の見通し(2010年-2040年)



出典:宮城県地域医療構想

地域医療構想とは、地域の医療提供体制の将来目指すべき姿ある計画の一部であり、各医療機能ごとの将来必要な病床数を推計し、示したもの

大崎・栗原区域(医療圏)における病床機能報告結果と必要病床数(機能別)の見通し(2013-2040)



出典:宮城県地域医療構想

大崎市民病院の現状

鳴子温泉分院
診療科:8診療科
病床数:130床(一般50, 回復リハ40, 医療療養20, 介護療養20)
現状と課題
・常勤医師:3人で本院からの応援で対応
・患者状況:減少傾向

岩出山分院
診療科:4診療科
病床数:40床(一般40)
現状と課題
・常勤医師:2人で本院からの応援で対応
・患者状況:入院減少, 外来横ばい

鹿島台分院
診療科:6診療科
病床数:70床(一般40, 医療療養18, 介護療養12)
現状と課題
・常勤医師:4人
・患者状況:入院外来ともに減少傾向

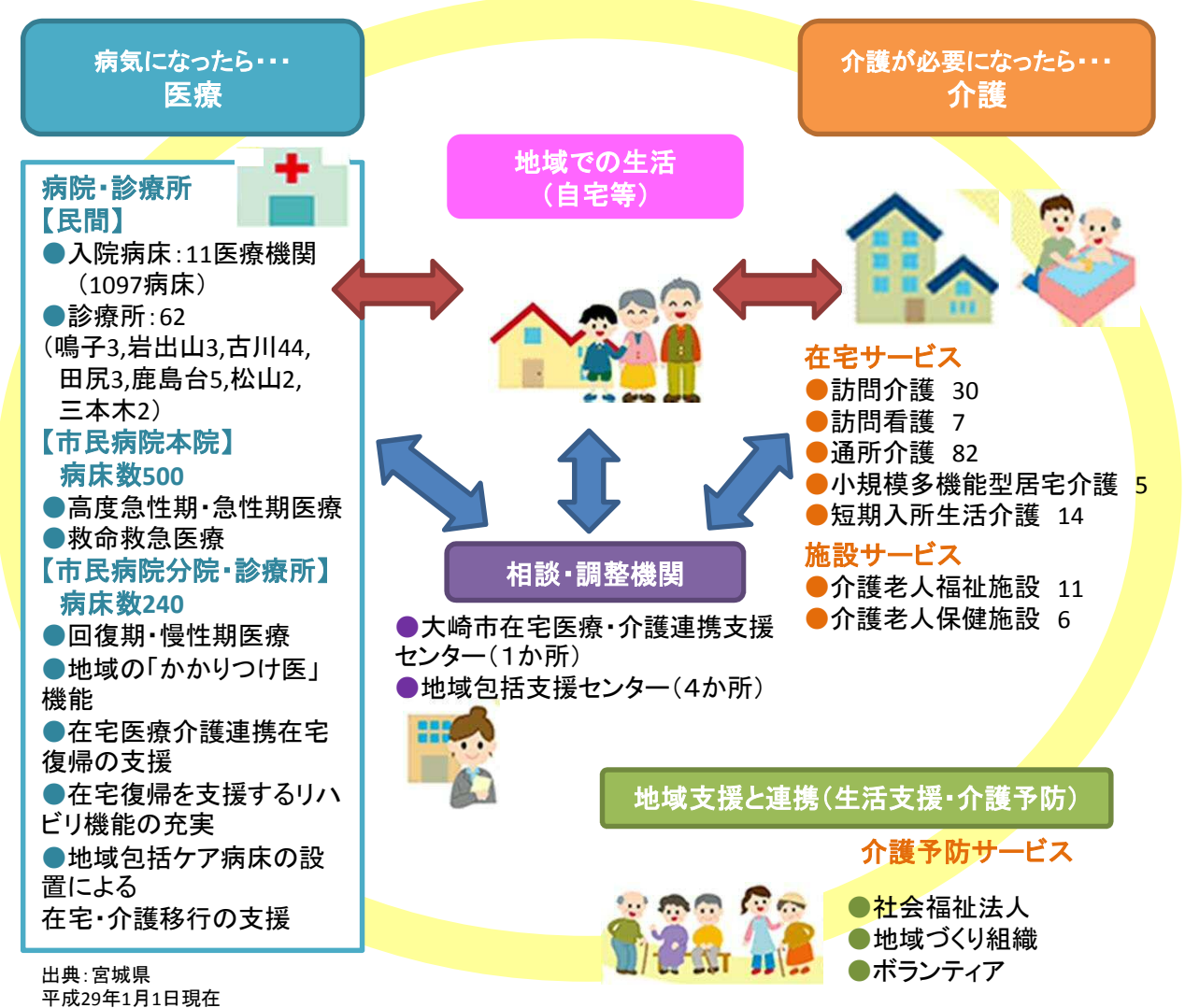
本院
診療科:43診療科
病床数:500床(一般486, 結核8, 感染症6)
指定:地域医療支援病院, 救命救急センター, 地域がん診療連携拠点病院, 地域周産期母子医療センター, DPC II 群
現状と課題
・看護師不足により487床にて運用(許可500床)
・救命救急センターに一次患者が増加し, 三次医療に支障を来している。

田尻診療所
診療科:3診療科
現状と課題
・常勤医師:1人
・患者状況:H18からH23にかけて減少し, 以降は1日あたり42人~43人で推移

地域医療構想を踏まえた役割

年度	平成28年度 (2016)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成37年度 (2025)
国・県の 動向	■宮城県地域医療 構想策定	■介護療養及び療養 病床の一部廃止 ■第7次医療計画 ■第7期介護計画				
大崎市人口	132,450人			127,684人		122,903人
	病院事業740床	病院事業678床	病院事業678床	病院事業678床	病院事業628床	病院事業628床
高度急性期・急性期機能	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療	本院 (500床) ■一般病床 (ICU含む) ■感染症病床 ■結核病床 【本院の役割】 大崎・栗原医療圏における高度急性期・急性期医療を中心とした役割を担う。 ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・三次救急医療
回復期・慢性期機能	鳴子温泉分院 (130床) ■一般病床 50 ■療養病床 80 (回復リハ40, 医療療養20, 介護療養20) 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実	鳴子温泉分院 (80床) ■一般病床 40 ■療養病床 40 (回復リハ40) 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実	鳴子温泉分院 (80床) ■一般病床 40 ■療養病床 40 (回復リハ40) 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実	鳴子温泉分院 (80床) ■一般病床 40 ■療養病床 40 (回復リハ40) 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実	鳴子温泉分院 (40床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) 新築建替 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実	鳴子温泉分院 (40床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) 【分院・診療所の役割】 回復期・慢性期医療を中心として、地域の「かかりつけ医」機能を担う。在宅医療における急変患者の入院が必要となる場合の病床を確保する。 ・在宅医療介護の柱である地域包括ケアシステムと連携し在宅復帰を支援する。 ・救急告示医療機関として、本院救命救急センターの後方支援を行う。 ・在宅復帰を支援するため、回復期としてリハビリ機能の充実
在宅医療・介護	岩出山分院 (40床) ■一般病床 40 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	岩出山分院 (40床) ■一般病床 40 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	岩出山分院 (40床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) リハビリ開始 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	岩出山分院 (40床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	岩出山分院 (30床) ■一般病床 30 (地域包括ケア10) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	岩出山分院 (30床) ■一般病床 30 (地域包括ケア10) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。
	鹿島台分院 (70床) ■一般病床 40 ■療養病床 30 (医療療養18, 介護療養12) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	鹿島台分院 (58床) ■一般病床 40 ■療養病床 18 (医療療養18) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	鹿島台分院 (58床) ■一般病床 40 ■療養病床 18 (医療療養18) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	鹿島台分院 (58床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) ■療養病床 18 (医療療養18) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	鹿島台分院 (58床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) ■療養病床 18 (医療療養18) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。	鹿島台分院 (58床) ■一般病床 40 (地域包括ケア10) ■療養病床 18 (医療療養18) 【在宅医療介護の役割】 在宅医療は、居宅、老人ホーム、介護老人保健施設等、病院・診療所以外で提供される医療介護サービス ・在宅医療介護に移行する制度と連動した内容で、公立病院改革プランを策定し、病院と在宅医療介護が連携し地域で安心して生活できるよう対応する。
	田尻診療所 0 在宅医療介護	田尻診療所 0 在宅医療介護	田尻診療所 0 在宅医療介護	田尻診療所 0 在宅医療介護	田尻診療所 0 在宅医療介護	田尻診療所 0 在宅医療介護
	在宅医療介護	在宅医療介護	在宅医療介護	在宅医療介護	在宅医療介護	在宅医療・介護 ■在宅医療 ■訪問看護 ■デイサービス ■施設入所 ■ホームヘルプ

市民病院と在宅医療連携のしくみ



【地域包括ケア病床とは】

急性期病床とは異なった看護体制にて医療提供を行い、病棟内に専用のリハビリ施設を完備します。

入院対象は、症状が落ち着いている患者で下記のような場合

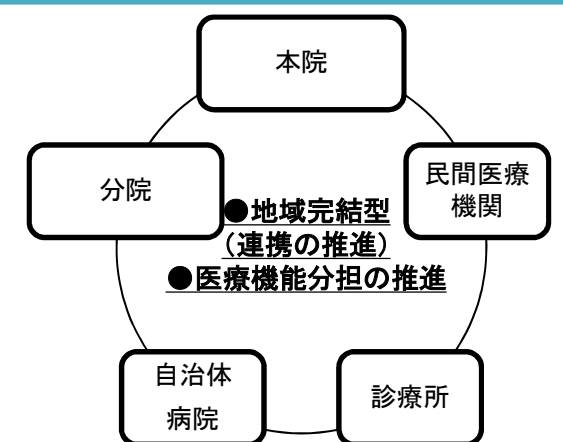
- ・転院先が見つからない
- ・円滑に在宅に移行できない
- ・急変時に受け入れ先病院が見つからない

経営の効率化

- 職員の意識改革を中心とした「目標管理制度」と「病院機能評価認定」の継続を中心とし、職員一丸となり取り組みを行う。
- 【主な取り組み内容】**
- ①収入増加・確保対策
 - ・7対1看護体制の確保
 - ・認知症ケア加算1, 2の取得
 - ・500床病床フル稼働
 - ・DPC II 群の指定継続
 - ・退院支援加算1の取得
 - ・総合入院体制加算2の取得
- ②経費の節減
 - ・後発医薬品使用率の向上
 - ・人員の適正配置
- ③民間的経営手法の導入
 - ・SPDの継続
- ④サービスの向上
 - ・病院広報誌, 市民向け病院事業広報誌の発行
 - ・退院支援部門の強化
- ⑤業務の改善, 職員の意識改革
 - ・目標管理制度
 - ・看護師確保対策ワーキングによる活動
 - ・病院機能評価認定
 - ・職員満足度調査
 - ・6S活動
 - ・患者満足度調査
 - ・人事評価制度の実施

再編・ネットワーク化

- 介護療養病床及び療養病床の一部の転換
- 岩出山分院は、リハビリテーション機能を設置(在宅復帰への支援)し、地域包括ケア病床の整備を行い、「回復期」機能を担う。(平成31年度)
- 鳴子温泉分院、鹿島台分院はリハビリテーション機能を維持し、地域包括ケア病床を設置し、「回復期」機能を担う。
- 鳴子温泉分院の老朽化に伴う建替え(平成33年度)



経営形態の見直し

- 地方公営企業法全部適用の病院事業として、4病院2診療所(健康管理センターを含む)の体制にて継続する。